

海・山に囲まれた大田市で暮らしてみませんか？

大田市では「おおだ定住支援センター」を設置し、いつでもUターンなどをご希望の方のご相談をお受けしています。また、同センターでは定住希望者の住宅ニーズに対応するため空き家情報の提供も行っています。

定住についてのご相談や空き家情報についてのお問い合わせは、『おおだ定住支援センター〈大田市役所まちづくり推進課内〉(☎0854-82-1600)』までお願いします。また、物件の現地案内もいたしますので、ご希望の方はご連絡ください。(※物件の所有者との調整が必要ですので必ず事前にご連絡をお願いします。)

提供している空き家情報の詳細は、おおだの定住サイト「どがどが(<http://www.teiju-ohda.jp/>)」でご覧いただけます。

どがどが 検索

① どがどが	賃売区分	構造		⑧ 	売却	木造瓦葺 2階建	
	所在地	住宅面積	敷地面積			富山町	246.1㎡
	金額	特記			1,100万円	高台にある日当たりの良い物件です。別棟の倉庫もあります。	
① 	売却/賃貸	木造瓦葺 2階建		⑨ 	売却	木造瓦葺 2階建	
大田町	201.4㎡	413.3㎡		波根町	164㎡	277.6㎡	
380万円 月2.5万円	市街地から車で10分。収納が多く大家族向け。一部改修工事が必要です。			600万円	漁港まで徒歩5分の場所にある即入居可能な物件です。		
② 	売却	木造瓦葺 2階建		⑩ 	賃貸	木造瓦葺 2階建	
大田町	88.5㎡	90.5㎡		久手町	186.3㎡	543.2㎡	
150万円	市街地にあり便利な場所です。一部改修工事が必要です。			8万円/月	約5台駐車可能な敷地の広いDKの物件です。行政区域は大田町です。		
③ 	売却	木造スレート葺 2階建		⑪ 	売却	木造瓦葺 2階建	
大田町	108.2㎡	475.2㎡		長久町	169.6㎡	994㎡	
1,000万円	市立病院の隣の日当たりの良い物件。一部改修工事が必要です。			1,600万円	市街地に近く、日当たり良好な敷地の広い物件です。		
④ 	賃貸	木造亜鉛鉄板葺平屋建		⑫ 	売却	木造瓦葺 2階建	
川合町	123.4㎡	387.3㎡		静間町	160.5㎡	190.4㎡	
月2.5万円	閑静で日当たりの良い物件です。2台駐車可能な車庫付です。			700万円	漁港の近くにある即入居可能な物件です。		
⑤ 	売却	木造瓦葺平屋建		⑬ 	売却	木造一部コンクリート瓦葺 2階建	
大田町	43.2㎡	145.1㎡		三瓶町池田	146.2㎡	168.6㎡	
100万円	市街のほぼ中央にある元市営住宅です。一部改修工事が必要です。			300万円	日本海や三瓶山の眺望が最高の物件。一部改修が必要です。		
⑥ 	売却	木造瓦葺 2階建		⑭ 	売却	木造瓦葺 2階建	
富山町	321.8㎡	658.1㎡		三瓶町志学	261㎡	429.7㎡	
200万円	古民家風の住宅で、広い納屋があります。一部改修工事が必要です。			850万円	建物が2棟あり2世帯での入居も可能です。店舗としての利用可能です。		
⑦ 	売却	木造瓦葺平屋建		⑮ 	売却	木造瓦葺平屋建	
波根町	169.3㎡	262㎡		温泉津町上村	122.5㎡	610.8㎡	
450万円	波根町のほぼ中心部にある即入居可能な物件です。			100万円 (建物のみ)	土間のある古民家風の物件です。一部改修が必要です。土地は借地です。		

(平成23年2月1日現在)

都市圏で定住相談会を開催

島根県及び県内の市町村が連携して、Uターン者を促進するため、都市圏で定住相談会を開催しています。相談会では、Uターン希望の移住相談をはじめ、ふるさとの情報や話題提供などを行っています。

移住は、人生を左右する大切な出来事でもあります。仕事や住居など様々な不安についての相談に応じています。

大田市へのUターンをお考えの皆さん、お気軽にお出かけください。

なお、今年度はこの様な相談会を利用された方を含めて56人の方が、大田市へ移住されました。(H23. 1月現在)



石見定住フェア

～石見の魅力をPR～

昨年より県内石見地区(4市4町)の市町村が参加して開催している石見定住フェアが、今年度は大阪と広島での2カ所で開催されました。

- 大阪；平成22年11月21日(梅田スカイビル)
・来場者120人、相談者22人
- 広島；平成23年2月27日(八丁堀シャンテ)

しまねUターンフェア

～東京・大阪・広島の都市圏をターゲット～

財ふるさと島根定住財団の主催により東京、大阪、広島で定住フェアが開催され、県内11～14市町村が参加。大田市のブースでは、田舎暮らしを希望するUターン者や帰省をお考えのUターン者の相談を受けるほか、ふるさと情報の提供を行いました。

- 大阪；平成22年10月3日(梅田スカイビル)
・来場者200人、相談者45人
- 東京；平成22年10月30日(秋葉原UDX)
・来場者137人、相談者18人
- 広島；平成22年11月27日(広島国際会議場)
・来場者134人、相談者8人

ふるさと回帰フェア 2010 in 大阪

昨年よりNPOふるさと回帰センターが主催する全国向けの定住フェアへ参加しています。昨今、都会地では田舎暮らしや故郷志向が強くなる中、9月7日、大阪で行われたフェアには、約6千4百人もの来場者がありました。大田市ブースでは5名の定住相談を受けました。

シリーズ新石見銀山⑬

遺跡発掘調査、続けています

石見銀山では、遺跡の発掘調査を継続して実施しています。鉱山遺跡の全体像を解明する目的で、計画的に調査地や位置などを決め、考古学をはじめとする専門家からの指導をいただきながら調査を進めています。

昨年は、仙ノ山西麓の「昆布山谷」地区で調査を開始しました。調査地は観光坑道の龍源寺間歩の出口から約100m下った佐毘売山神社参道に向って右の脇道から少し登ったところでした。

佐毘売山神社をいただく丘陵にはいくつもの間歩が確認されています。また、文献史料によると、昆布山谷は、「石が滑らかで昆布のようなのでこの谷を昆布山谷という」との由来があり、16世紀の銀山開発初期に人々が集住していたこともわかっています。一方で、明治期に稼業した近代鉱業設備跡が残っていることや、周辺の出土谷や傍畑谷において、過去に実施した発掘調査で江戸時代後期の銀や銅を製錬した施設があったことが明らかになっています。このことから、この周辺の谷一帯は長期間にわたって鉱業に関する営みがあったことがわかっています。

昨年の調査では、江戸末期から明治時代にかけての炉跡や礎石建物跡などの遺構と、陶磁器片、

瓦片(いぶし瓦、石州瓦)や鉾滓(※こうし、こうさい)などの遺物を確認しました。今年も引き続き調査を行い、銀山開発初期から明治期の土地利用の変遷を確認し、遺跡の保存と活用などに利用できる基礎資料を得ることとしています。

今回の調査地点は佐毘売山神社に近いこともあり、発掘調査の現場を公開し、調査の様子をたくさんの方に見ていただきました。今後も条件が整えば、発掘調査の現場を皆さんに見学していただける機会を設けたいと考えています。

※金属を作るときに出るカス



発掘調査の様子

【問】 石見銀山世界遺産センター ☎0854-89-0183 ホームページ <http://ginzan.city.ohda.lg.jp/>